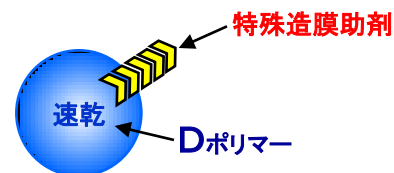
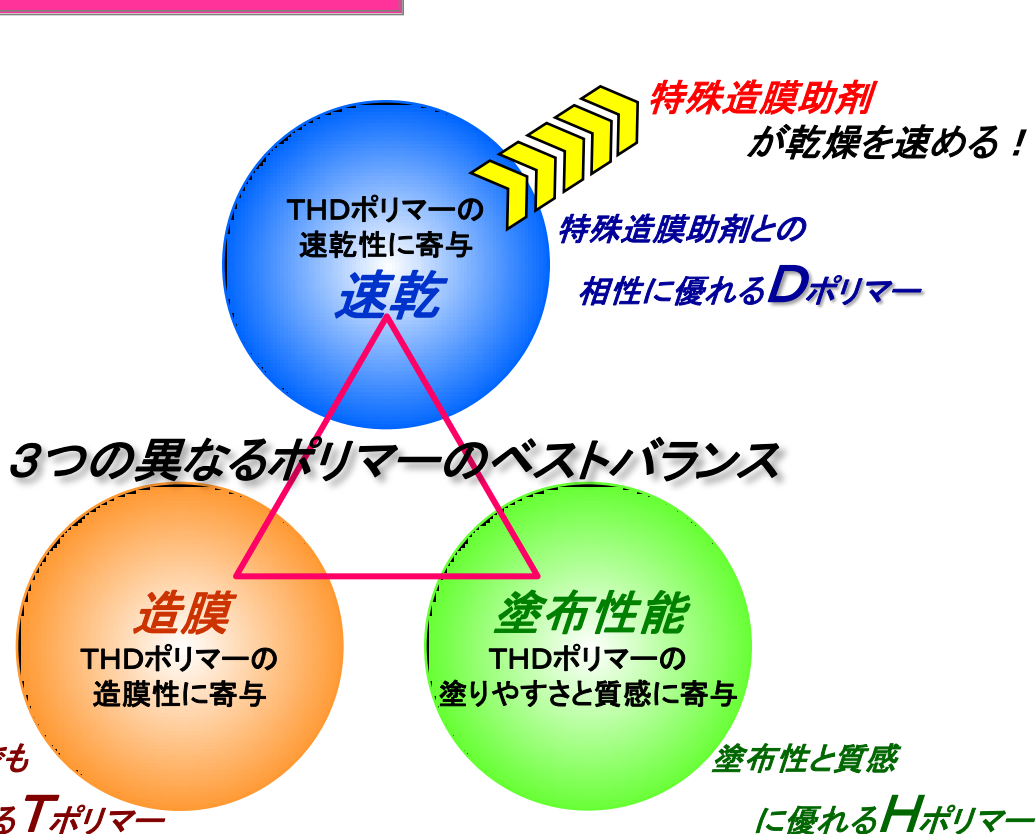


製品特徴詳細

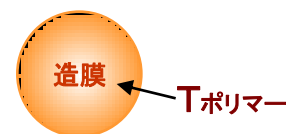
抜群の乾燥性－1

新開発DTHポリマー
のイメージ図

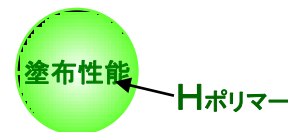
DTHポリマーは3つの異なるポリマーがベストバランスで構成され、優れた速乾・造膜・塗布性能を発揮します。



Dポリマーは、乾燥性に優れた特殊造膜助剤との相性がよく、特殊造膜助剤をワックス液に安定して取り入れることができ、重ね塗りに際しても艶ボケを起こしにくい。



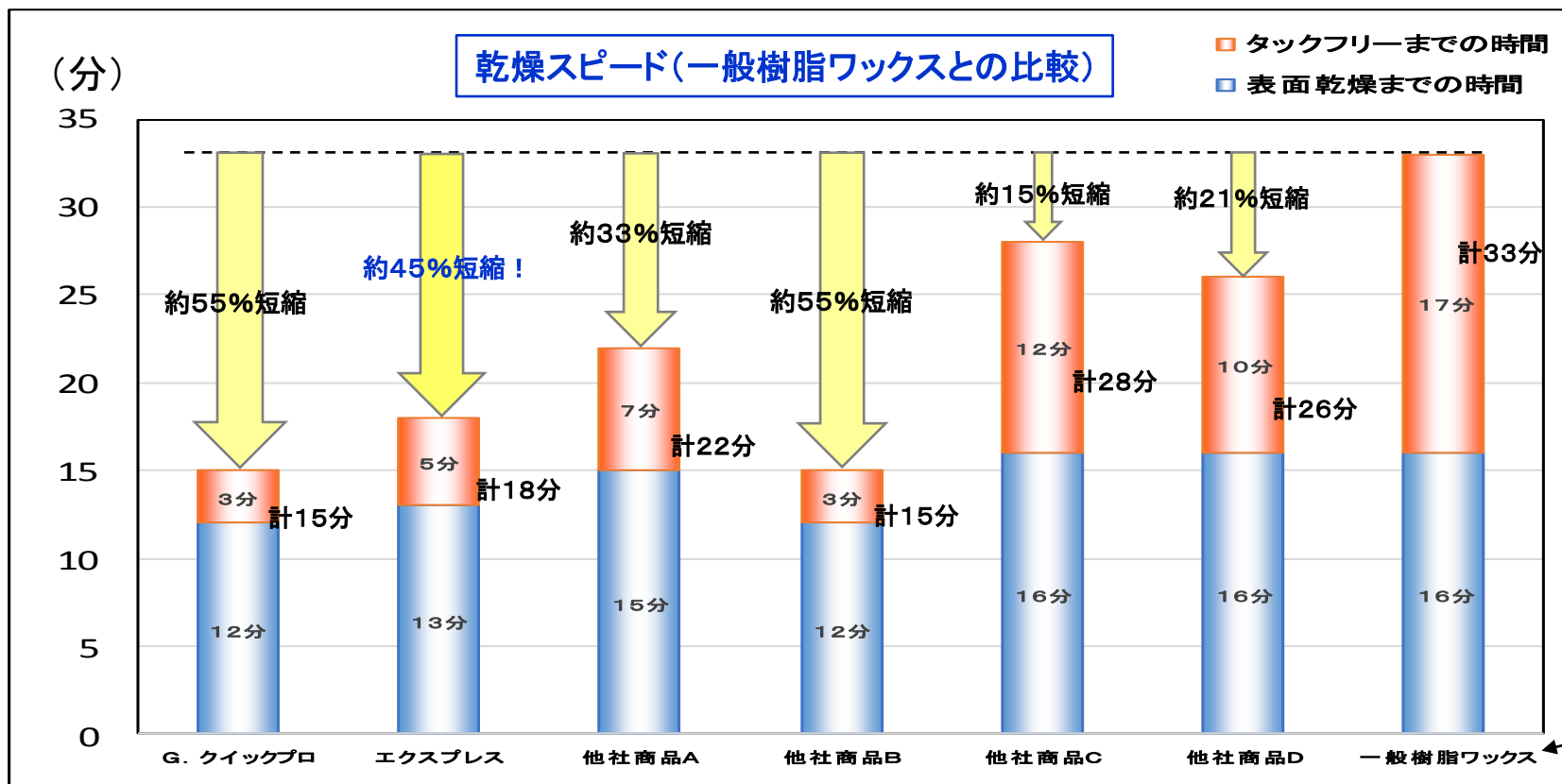
Tポリマーは、造膜性に優れ、特殊造膜助剤や強制乾燥による短時間の乾燥でも造膜可能。
また、冬場(低温・低湿度)の厳しい環境下にもパウダリングを起こしにくい。



Hポリマーは、モップさばきの軽さと塗り映える光沢質感を持つ。

製品特徴詳細

抜群の乾燥性－2



気温25℃、湿度60%で複層ビニル床タイルに塗布量20g/m²で塗布し、自然乾燥させました。ワックスを塗布してから、目視でワックス表面が濡れていない状態(表面乾燥)になるまでの時間と、そこからさらにワックスの上を歩行してもベタつかずに歩行可能となる(タックフリー)までの時間を測定。

エクスプレスの乾燥時間は、一般樹脂ワックスに比べて約45%短縮されます。

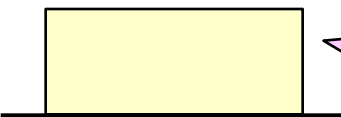
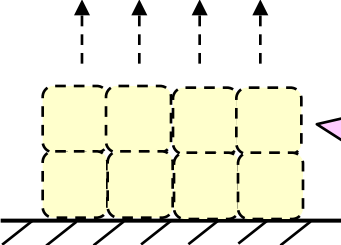
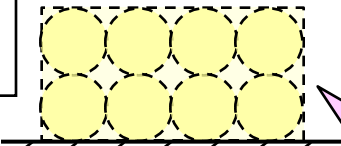
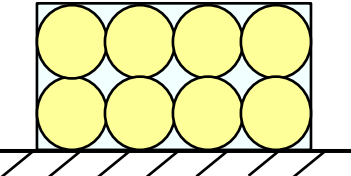
※ 強制乾燥の場合は、自然乾燥に比べ、およそ半分の時間でワックスが乾燥します。

製品特徴詳細

抜群の乾燥性-3

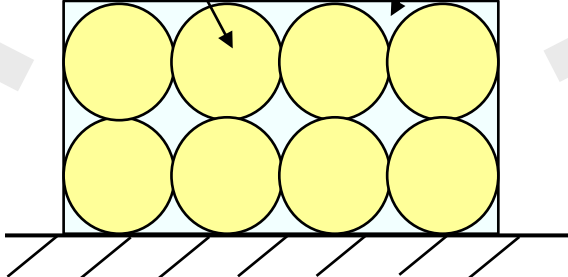
強制乾燥への対応

自然乾燥した場合の造膜イメージ

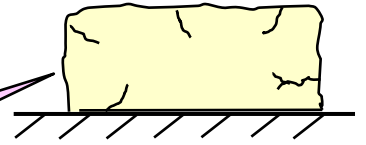
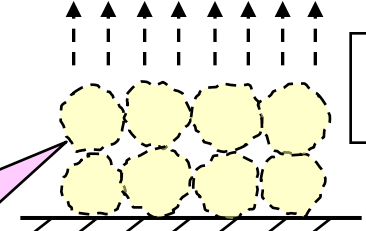
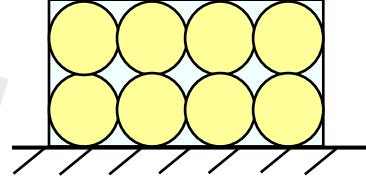


一般樹脂ポリマー

水・造膜助剤などの水分



強制乾燥した場合の造膜イメージ



水・造膜助剤がゆっくりと飛び、ポリマー同士の融着が始まる。

ワックス塗布直後の表面乾燥していない状態から、送風機で直にワックスを乾燥させると、ポリマー同士が十分に融着する間もなく、水・造膜助剤が急速にとんでしまう。

造膜不良ぎみとなり、本来の塗膜性能が十分に発揮されない。

造膜性が悪くなると、初期光沢、重ね塗り性、耐久性に悪影響を及ぼす。さらに冬場などの低温下での強制乾燥では、密着不良やパウダリングを起こしやすくなる。

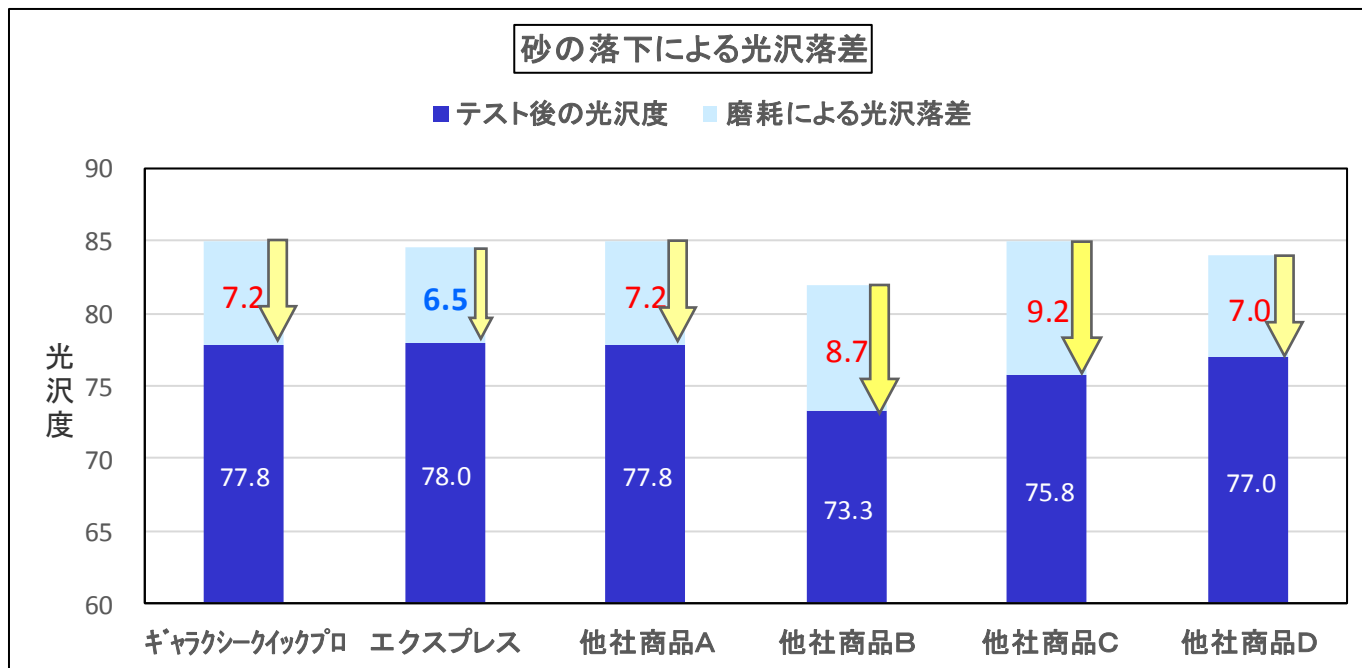
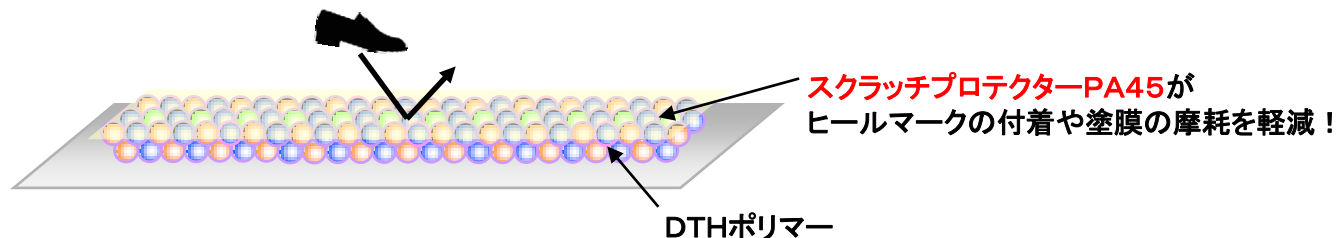
※エクスプレスは造膜性に優れているため、一般的な樹脂ワックスに比べ、強制乾燥によるリスクを低く抑えることができます。

製品特徴詳細

優れた耐久性

スクラッチプロテクターPA45の配合により耐久性が向上し、ヒールマークの付着や塗膜の摩耗が軽減されます。

エクスプレスの塗膜
イメージ図



複層ビニル床タイルに各々ワックスを3回塗布したテストピースに砂を落下させた時の光沢落差を比較しました。

※耐摩耗性は光沢落差が小さいほど良好です。

製品特徴詳細

優れた造膜性(冬場に強い①)

DTHポリマーは造膜性に優れ、冬場(低温・低湿)に起きやすいパウダリングのリスクを低減します。

一般樹脂ワックスの造膜イメージ

エクスプレスの造膜イメージ

通常時の乾燥

冬場(低温・低湿度)
+強制乾燥

冬場(低温・低湿度)
+強制乾燥

塗布直後

DTHポリマー

一般樹脂
ポリマー

一般造膜助剤
を含む水分

乾燥の速い特殊造膜助剤を含む水分

乾燥途中

水分がゆっくりと飛び、ポリマー同士が十分に融着が進む。

低温で、かつ水分の飛びが速くなり、ポリマー同士がきれいに融着せず、造膜不十分となる。

DTHポリマーは造膜性に優れ、低温でかつ水分の飛びが速くてもポリマー同士の融着が進む。

乾燥終了

きれいに造膜し、本来もつ耐久性が発揮される。

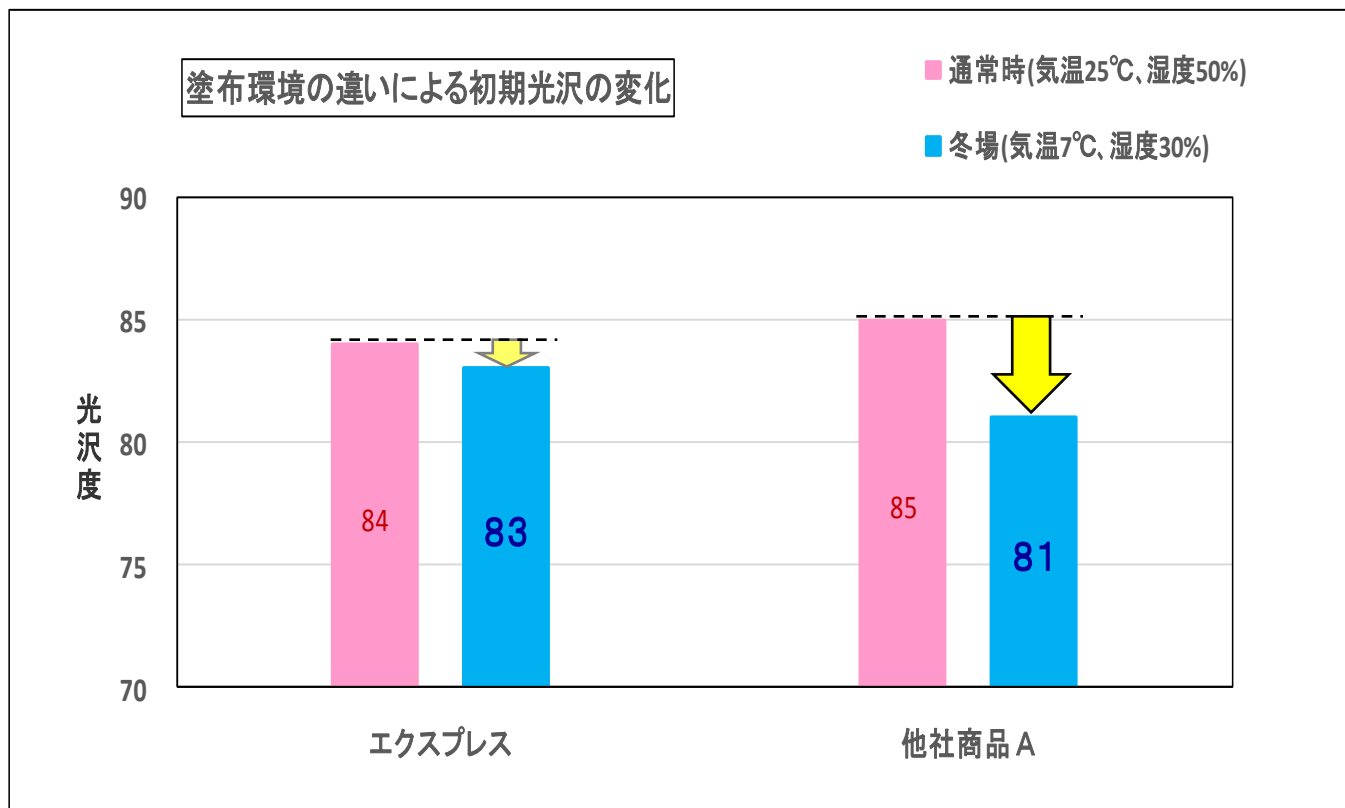
造膜不良や艶ボケを起こす。ひどい場合には密着不良やパウダリングが発生する。

きれいに造膜し、本来もつ耐久性が発揮される。

製品特徴詳細

初期光沢(冬場に強い②)

エクスプレスはDTHポリマーによって、塗り映えのする光沢質感が得られます。また造膜性が良いので、冬場(低温・低湿)でも比較的きれいに仕上がります。



通常時(気温25°C、湿度50%)と冬場(気温7°C、湿度30%)で複層ビニル床タイルに塗布量20g/m²で各々ワックスを3回塗布したときの光沢度を比較しました。

※エクスプレスは他社商品Aに比べて、冬場の初期光沢の仕上がりが良好です。